

趣旨

学術・産業構造が急速に変化している状況下で、社会人を積極的に受け入れ、社会人の再教育、高度な専門知識を持った職業人の養成を行う。

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、出願時において、企業、官公庁等に在職し、入学後も引き続きその身分を有する者で、所属長の推薦を受けた者

- (1) 修士の学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了して、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号参照）^{注1、注3}
- (7) 本学府において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者及び平成29年4月1日までに24歳に達する者^{注2、注3}
- (8) 本学府において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者^{注3}

注1） 出願資格（6）に定める「文部科学大臣の指定した者」の範囲は、次の要件を満たす者であること。
大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学・研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学府において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者である。

なお、「修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者」とは、著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許などにおいて修士論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者である。

注2） 出願資格（7）に定める「本学府において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者及び平成29年4月1日までに24歳に達する者」の範囲は、次の要件を満たす者であること。

大学、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等で、生物資源環境科学関連分野の研究歴があり、著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許などにおいて修士論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者である。

注3） 出願資格（6）、（7）、（8）による出願者は出願に先立ち、5.に記載する出願資格の事前審査を受けなければならない。

2. 募集専攻及び募集人員

募 集 専 攻	募集人員
資源生物学専攻	若干名
環境農学専攻	若干名
農業資源経済学専攻	若干名
生命機能科学専攻	若干名
生物産業創成専攻	若干名
合 計	若干名

※各専攻の研究分野等については、11～15頁を参照のこと。

3. 願書受付期間

平成 28 年 12 月 13 日（火）から平成 28 年 12 月 16 日（金）17 時まで（郵送の場合も同日の同時刻までに必着のこと。）

4. 出願手続

(1) 提出書類及び検定料

提出書類等	注 意 事 項
入 学 願 書 受 験 票 照 合 票	本学所定の用紙を用い、黒インク又はボールペンで記入すること。 出願3ヶ月以内に撮影した上半身、脱帽の写真(3.5cm×2.5cm)を所定の位置に貼ること。
修 士 課 程 修 了 証 明 書	① 出身大学(研究科)長が発行した修士課程修了証明書若しくはそれに相当する証明書 ② 出身大学(研究科)長が発行した修士課程成績証明書(厳封したもの) ③ 修士論文(写) ※①～③の書類については、本学府の修了者及び出願資格(5)、(6)、(7)による出願者は不要である。
研 究 計 画 書 等	① 研究計画書:本学府所定の用紙に、在学中に行う研究分野に関する研究計画を記入すること。(出願資格(5)、(6)、(7)による出願者は事前に提出するので不要) ② 研究的活動実績を示す資料:著書、学術論文、学術講演、特許等があれば、その写しなどを添付すること。(出願資格(5)、(6)、(7)による出願者は事前に提出するので不要)
推 薦 書	本学府所定の用紙に、所属長又は指導的立場にある者が作製したもの (出願資格(5)、(6)、(7)による出願者は事前に提出するので不要)
TOEFLテストスコアのコピー (P9注2を参照)	(環境農学専攻:サステナブル資源科学教育コースのみ) TOEFLテスト受験者本人に届く「Examinee Score Record」のコピー(鮮明なもの)
検 定 料	30,000円(銀行振込とし、16頁以降をよく読んで振込むこと。)
受験票発送用封筒	長形3号(23.5cm×12cm)の封筒に、出願する者の郵便番号、住所、氏名を明記し、362円分の切手(速達料金を含む。)を貼ったもの。

(2) 出願書類提出先

九州大学農学部学生係
〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1
電話 (092) 642-2814、2815

(3) 出願方法

(1) の提出書類及び入学検定料原符を一括し、所定の期日までに提出先へ持参又は郵送すること。郵送の場合は、必ず書留速達とし、封筒の表に「**博士(社会人)入学願書**在中」と朱書きすること。

(4) 受験票について

受験票が試験日の1週間前になっても郵送で届かない場合には、4. (2) 出願書類提出先へ連絡すること。

5. 出願資格の事前審査

1. の出願資格の(6)、(7)、(8)による出願者は、出願に先立ち出願資格の事前審査を行うので、次の書類を

4. (2) の出願書類提出先へ提出すること。

なお、郵送の場合は、必ず書留郵便として封筒表面に「**博士(社会人)事前審査**」と朱書きすること。

(1) 提出書類

提出書類等	注 意 事 項
出 願 資 格 認 定 申 請 書	本学府所定の用紙に必要事項をもれなく記入すること。
推 薦 書	本学府所定の用紙により、所属長又は指導的立場にある者が作成したもの
研究従事内容証明書	本学府所定の用紙により、所属長又は指導的立場にある者が作成したもの
研 究 計 画 書 等	① 研究計画書:本学府所定の用紙に、在学中に行う研究分野に関する研究計画を記入すること。 ② 研究的活動実績を表す資料:著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許等があれば、その写しなどを添付すること。

学 修 歴 活 動 歴 実 務 経 験 等	現在までの学修歴、活動歴、実務経験等(以下「学修歴等」という。)について具体的に自由形式で記述したものを提出すること。 なお、学修歴等については下記①～④のような事項が考えられる。 また、学修歴等に関する著書、論文、報告書等があれば添付すること。 ① 大学、短期大学、高等専門学校等における学修歴 ② 研究機関、教育機関、企業等における実務経験 ③ 海外における国際的団体等での活動経験 ④ 英語を含む語学力
最終学校の修了(卒業)証明書	最終出身学校長が発行したもの
最終学校の成績証明書	最終出身学校長が発行し、厳封したもの
返信用封筒 (資格審査結果送付用)	長形3号(23.5cm×12cm)の封筒に、事前審査を受ける者の郵便番号、住所、氏名を明記し、362円分の切手(速達料金を含む)を貼ったもの。

(2) 提出期間

要項発表の日から平成28年11月15日(火)17時までの期間

(3) 審査結果

審査の結果については、平成28年12月2日(金)までに申請者あてに通知するので、資格があると認定された者は、4.の出願手続を行うこと。

6. 試験日及び場所

月日(曜)	時間	試験科目	場所
1月18日(水)	10:00～12:00	外国語 ^{注1、注2}	九州大学農学部
1月19日(木)	13:00～	口頭試問	

※ 各科目の集合時間

「外国語」・・・9:50

「口頭試問」・・・各教育コース等の指示による。

※ 試験室及び試験時間割は、1月17日(火)農学部公用掲示板(1号館横)に掲示する。

7. 選抜方法

筆記試験、口頭試問(過去の研究的活動実績の報告を含む)、成績証明書を総合して行う。外国語は英語^{注1}とする。

注1 外国語(英語)として、**環境農学専攻・サステナブル資源科学教育コース、農業資源経済学専攻、生命機能科学専攻、生物産業創成専攻**については、TOEFL-ITP(LEVEL1)を大学院入学試験場で実施します。TOEFL-ITPとは、団体向けTOEFLプログラムです。TOEFL-ITPは、Listening Comprehension、Structure and Written Expression 及び Reading Comprehension から成ります。なお、入学試験では、Listening Comprehension は合否判定には採用しません。

注2 環境農学専攻のサステナブル資源科学教育コースを志望する者

TOEFL-ITPを大学院入学試験で受験。もしくは、次のいずれかのTOEFLテストスコア(取得後2年以内のもの)を提出した者は、外国語(英語)試験を免除し、得点を満点として扱います。

①TOEFL-iBT 79点以上 ②TOEFL-PBT 550点以上

なお、TOEFLテストスコアの提出方法は次の通りとします。

(1)TOEFLテスト受験者本人に届くExaminee Score Recordのコピーを仮スコアとし、入学願書と共に提出してください。

(2)後日、合格者には仮提出したTOEFLテストスコアのOfficial Score Reportの提出を求めます。合格通知に記された期日までに、Official Score Reportが届くように米国ETSへの手続を行ってください。その際は次のDI(Institute Code)コードとDepartmentコードを用いてください。

DIコード:0411 Departmentコード:31

(3)Examinee Score Recordのコピーはあくまでも仮のものとし、ETSから送付されたOfficial Score Reportを正式スコアとします。両者を照合し、改ざん等がみとめられた場合には、入学許可後でも合格を取り消します。

資源生物科学専攻および環境農学専攻・森林環境科学教育コース・生産環境科学教育コース・農業環境科学教育コースについては、TOEFL-ITPを使用しません。

8. 合格者発表

平成 29 年 2 月 3 日（金）16 時に農学部公用掲示板（1 号館横）に掲示するとともに、合格者には本人あて通知する。（本学部にて在学中の者へは、学内便にて通知する。）

9. 入学料及び授業料

入学料：282,000 円（予定額）

授業料：〔前期分〕267,900 円（予定額） 〔年額〕535,800 円（予定額）

※ 入学料・授業料については、入学時まで改定が行われた場合には、その改定額を適用する。また、授業料について在学中に改定が行われた場合には、改定時から新授業料を適用する。

10. 願書等請求

募集要項及び入学願書等の請求は、4. (2) の出願書類提出先へ行うこと。

なお、郵送で請求するときは、返信先住所、氏名等を明記して郵便切手 250 円分を貼った角形 2 号封筒縦 3.2 cm×横 24.0 cm) を同封の上、「**博士(社会人)願書請求**」と表示すること。

11. 注意事項

(1) 願書を提出する際は、受験を希望する分野の指導教員に必ず事前に連絡を取ることを。

(2) 願書受理後は記載事項の変更・検定料の払い戻しはできない。ただし、検定料納付後、出願しなかった者及び受理できなかった者については返還するので、4. (2) の出願書類提出先へ連絡すること。

(3) 受験票未受領者又は紛失した者は、試験開始前までに農学部学生係（農学部 1 号館）で受領すること。

(4) その他不明の点があれば、4. (2) の出願書類提出先へ問い合わせること。

12. 個人情報の取り扱いについて

入学者選抜の過程で収集した個人情報は入学者選抜の実施、入学手続き、入学後の奨学・厚生補導並びに修学指導に関する業務を行うために利用し、上記の目的以外には利用しません。

13. 受験上の注意

(1) 試験当日は、各試験科目の集合時間を厳守ください。試験室には、集合時間の 10 分前から入室できません。

(2) 携帯電話等は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し、必ず電源を切っておいてください。

(3) **遅刻による試験室への入室限度時刻は試験開始後 30 分です。**なお、交通機関の事故又はやむを得ぬ事由により、試験開始後 30 分以上遅刻した者は、監督者に申し出てください。

(4) 試験終了までは、退室できません。

14. 入学志願に当たっての留意事項

本学府では、入学後に専攻・研究分野を変更することは原則として許可されない。従って、志望専攻・研究分野の決定に当たっては、研究内容等について十分に検討した上で出願すること。

15. 成績開示について

開示期間等詳細については、本学府HP (<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/>) を参照してください。

16. 障害等のある入学志願者について

本学府では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があり、そのための相談を受け付けています。

受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することがありますので、平成 28 年 12 月 2 日（金）までに下記連絡先まで相談してください。

連絡先 九州大学農学部学生係
〒812-8581 福岡市東区箱崎 6 丁目 10 番 1 号
Tel (092)642-2814
Fax (092)642-2817
E-mail noggakus@jimu.kyushu-u.ac.jp

17. キャンパスの移転について

生物資源環境科学府は、平成 30 年 10 月に伊都地区への移転を予定しております。

資源生物科学専攻

本専攻では、人類に課せられた最重要課題の一つである食料問題の克服を基本理念として、陸圏、水圏を包括した食料資源生物の持続的安定供給、革新的生産技術、保護管理および資源生物生存環境の保全を目指し、分子・細胞から生態系にまで至る幅広い専門知識と先端的技術、深い洞察力および豊かな創造性を併せ持つ人材を体系的、組織的に育成することを教育目標とする。生命の営みや生物生産の仕組みに関心をもち、将来、食料問題の解決や、生物生産を支える豊かな環境の創造に挑戦しようとする意欲をもった人物を期待する。

研究分野及び指導教員

研究内容等の詳細についてはホームページを参照すること。

教育コース	研究分野	教授	准教授・講師
農業生物資源学	植物育種学	吉村 淳	安井 秀
	作物学	井上 眞理 ^{注1}	石橋 勇志
	植物生産生理学	上野 修	斎藤 和幸
	昆虫ゲノム科学	日下部 宜宏	
	動物学	飯田 弘	
	昆虫学	廣渡 俊哉	紙谷 聡志
	植物病理学	古屋 成人	
	天敵微生物学		青木 智佐
	天敵昆虫学		上野 高敏 津田 みどり
	植物光生理学		松下 智直
動物・海洋生物資源学	高次動物生産システム学 ^{注2}	(兼) 田畑 正志	
	家畜生体機構学	田畑 正志	西村 正太郎
	動物繁殖生理学		山内 伸彦
	畜産化学		辰巳 隆一
	代謝・行動制御学	古瀬 充宏	下條 雅敬 ^{注1} 安尾 しのぶ
	家畜生産生態学		後藤 貴文
	海洋生物学	松山 倫也	
	水産増殖学		望岡 典隆
	アクアフィールド科学	吉国 通庸	
	水産生物環境学	大嶋 雄治	島崎 洋平

※ 注1 平成 29 年 3 月定年退職予定者

※ 注2 高次動物生産システム学研究分野は募集を行わない。

環境農学専攻

本専攻では、生物生産環境、生物生存環境の保全・修復・創生と資源の生産・加工・利用を図り、環境と資源利用が調和した高度で持続可能な社会の構築に寄与する人材を体系的、組織的に育成することを教育目標とする。先端的知識、包括的思考力、高度な課題探求・解決能力の修得と学際的かつ国際的に活躍するために必須となる英語、化学、生物学、物理学、数学、経済学などの基礎学力、および研究遂行のための熱意・能力・資質をもった人物を期待する。

研究分野及び指導教員

研究内容等の詳細についてはホームページを参照すること。

教育コース	研究分野	教授	准教授・講師
森林環境科学	植物代謝制御学		渡辺 敦史
	造林学		玉泉 幸一郎
	森林生産制御学	大賀 祥治	榎木 勉 古賀 信也
	森林計画学	吉田 茂二郎	溝上 展也
	森林政策学	佐藤 宣子	
	森林保全学	久保田 哲也	
	流域環境制御学	大槻 恭一	
生産環境科学	灌漑利水学	凌 祥之	
	水環境学	平松 和昭	原田 昌佳
	土環境学	(兼)北野 雅治	
	土壌学	和田 信一郎 ^{注2} (兼)北野 雅治	
	気象環境学	北野 雅治	安武 大輔
	生産環境情報学 ^{注3}		(兼)平井 康丸
	農業生産システム設計学	井上 英二	岡安 崇史 平井 康丸
	農産食料流通工学	内野 敏剛	田中 史彦
農業環境科学	園芸学		若菜 章
	農業生産生態学	望月 俊宏	尾崎 行生
	生物環境調節学	吉田 敏	江口 壽彦
	熱帯作物・環境学	緒方 一夫	宮島 郁夫
	生物保護管理学	高須 啓志	
	持続型農業生産学 ^{注1}	安達 克樹	
サステイナブル資源科学	木質資源理学	松村 順司	
	木質材料工学	中尾 哲也	藤本 登留
	森林化学	堤 祐司	小名 俊博
	生物資源化学	北岡 卓也	一瀬 博文
	森林圏環境資源科学	久米 篤	清水 邦義

※ 注1 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構九州沖縄農業研究センターとの連携講座

※ 注2 平成29年3月定年退職予定者

※ 注3 生産環境情報学研究分野は、募集を行わない。

農業資源経済学専攻

本専攻では、社会科学総合の観点から、国際フードシステムの社会経済問題に関する高度な研究能力と国際性を備えた指導力を持つ人材を体系的・組織的に育成することを教育目標とする。そのために必要となる英語、経済学及び各研究分野の基礎知識を広範に修得し、熱意を持って研究を推進できる能力を有する人物を期待する。

研究分野及び指導教員

研究内容等の詳細についてはホームページを参照すること。

教育コース	研究分野	教授	准教授・講師
農業資源経済学	食料農業政策学	伊東 正一	磯田 宏
	農業経営学	南石 晃明	
	食料経済分析学	前田 幸嗣	
	食料流通学	福田 晋	
	環境生命経済学	矢部 光保	

生命機能科学専攻

複雑な生命現象の発現と調節に係る機能素子の作用機構の解明とデザイン、細胞内ネットワークシステムの構成要素(分子)間の相互作用の解明、有用微生物やバイオマスの機能利用した持続型・低環境負荷型有用物質生産技術の確立、食の機能性・安全性・製造技術など総合科学としての食科学に関する広範な専門知識と総合力、深い洞察力および豊かな創造力を養うことを教育目標とする。生物機能分子とそのシステム、生物機能の工学的応用、および食科学に強い関心を持ち、それらの分野を取り巻く課題に果敢に挑戦しようとする強い意欲をもった人物を期待する。

研究分野及び指導教員

研究内容等の詳細についてはホームページを参照すること。

教育コース	研究分野	教授	准教授・講師
生物機能分子化学	生物化学 ^{注2}	木村 誠 ^{注1}	
	水族生化学	中尾 実樹	柚本 智軌
	生物物理化学	角田 佳充	西本 悦子
	植物栄養学	松岡 健	山川 武夫 丸山 明子
	蛋白質化学工学	石野 良純	
	農業薬剤化学		平島 明法
	植物分子機能学		中村 崇裕
システム生物学	家蚕遺伝子資源学		伴野 豊
	植物遺伝子資源学	熊丸 敏博	
分子微生物学・ バイオマス資源化学	土壌環境微生物学	酒井 謙二	
	発酵化学	竹川 薫	
	微生物遺伝子資源学	土居 克実	
食料化学工学	栄養化学	佐藤 匡央	
	食品製造工学	下田 満哉	井倉 則之
	食品衛生化学	宮本 敬久	本城 賢一

※ 注1 平成29年3月定年退職予定者

※ 注2 生物化学研究分野は、募集を行わない。

生物産業創成専攻

遺伝子システム、代謝システムおよびバイオプロセスを研究対象として、分析技術、情報科学的技術を駆使して生物機能のシステム解析を行い、生物生産システムにおける生産効率の飛躍的向上のための戦略をデザインできる指導的な研究者、あるいは、微生物／植物／動物の遺伝子改変を取り入れたシステム解析、機能性食品生産の効率化、機能創出のためのバイオマテリアル構築法など、新規生体機能物質創製のための戦略的アーキテクトをデザインできる指導的な研究者を養成することを教育目標とする。博士後期課程のみで、しかも産学連携研究を志向した専攻であることから、生命機能科学に関する基礎知識・技術を備え、生物産業界において変化する社会情勢に柔軟に対応でき、国際的な場でリーダーシップを発揮しようとする強い意欲を持った人物を期待する。

研究分野及び指導教員

研究内容等の詳細についてはホームページを参照すること。

教育コース	研究分野	教授	准教授・講師
システムデザイン	合成生物学	岡本 正宏	花井 泰三
	遺伝子制御学		田代 康介
	食品分析学	松井 利郎	
	微生物工学	園元 謙二	中山 二郎
	代謝システムデザイン	割石 博之	
	バイオプロセスデザイン	白石 文秀	
機能デザイン	海洋資源化学	伊東 信	沖野 望
	食糧化学	立花 宏文	
	高分子材料学	近藤 哲男	巽 大輔
	細胞制御工学		片倉 喜範
	生物機能デザイン	古屋 茂樹	
	バイオマテリアルデザイン	(兼)近藤 哲男	